

佐倉で「認知症」について市民公開講座が 開催されました！

聖隷佐倉市民病院認知症看護認定看護師・窪田 妙子



認知症には日常のケアが肝心

2013年4月27日(土) 聖隷佐倉市民病院にて「認知症について」の市民公開講座が開催されました。

今年の1月から当院で「ものわすれ外来」の診療を開始した持田医師から、認知症についての基礎知識や、症状などについてのお話がありました。「認知症」は、薬だけでなく、日常生活の支援が最も重要であり、医師ができることは限られている。周囲の関わりで本人は落ち着くものとのお話しに、ケアの重要性を再認識しました。

続いて、認知症看護認定看護師の高橋さんから、病院での認知症ケアを、事例を交えての話がありました。認知症の方を混乱させない、その人らしさを尊重した関わりをするなどのポイントを交え、事例を交えての話は具体的で理解しやすいものでした。

認知症看護認定看護師の活動

次は私の番です。私は病院での活動について話させて頂きました。急性期病院に入院した認知症の方の認知機能の維持、昼夜の生活リズムを取り戻すなどの目的で、3年ほど前から、「院内デイケア」を行っています。対象は認知症を持つ入院患者様ですが、どなたでも来ていただけるようになっています。 ↑

開催日時は毎週金曜日の13時から15時です。私と、ボランティアさんが4~5名で関わります。まず、日付の確認を含めて「今日は何の日？」という記念日を紹介するコーナーです。続いて体操です。続いて好評の歌の時間です。普段声を出す機会はなかなか無いので、皆さん楽しそうです。後半は好きな作業をします。

ポスターなどの作品を作ったり、将棋を指したり、外を眺めていたりと思いの時間を過ごします。参加者の反応をまとめてみましたが、いわゆる周辺症状は院内デイケアに参加している間、極端に減少していることがわかりました。入院生活も円滑に過ごせる可能性があることがうかがえました。



作業療法士・リハビリについて

最後に作業療法士の小原さんから認知リハビリテーションについて話がありました。相談機関の紹介もされ、地域包括支援センターが紹介されました。100名を超える方が参加して下さい、質問も活発に交換され、盛況のうちに終了となりました。

※ 聖隷佐倉市民病院「物忘れ外来」を受診するには

持田医師によるものわすれ外来は、毎月第2・4水曜日の午後です。予約は不要ですが、予約のない方は15時30分までに受付を済ませてください。